

【Future しずおか】 科学技術高校の課外授業講師として、同校 OG である弊社社員が進路設計へのアドバイス！

2023年12月15日、静岡県立科学技術高等学校にて、県内企業が仕事の内容や静岡で働くことの魅力を伝える課外授業「Future しずおか」（静岡新聞社・静岡放送主催）が開催されました。同高校の1年生約320人が参加し、卒業後の進路設計を考える重要なイベントとなりました。今回は、講師を務めた駿河生産プラットフォームの今村 歩（いまむら あゆみ）さんにインタビュー。講師としての感想や現在の想いを伺いました。

未来を担う現役高校生への講演

—まず、今村さんのご所属と業務内容を教えてください。

今村さん：所属は、技術統括室 無人生産開発部 無人加工技術ユニットで、入社3年目になります。技術統括室では、「世界で勝てるものづくり」のため、主力商品であるFA・金型製品の工法開発を行っています。担当している製品は「タイミングプーリー」という歯形状製品で、モーターに取付けて回転する力を伝える部品です。



左：製品の形状測定作業の様子 右：NCプログラム(工作機械を動かすためのプログラム)の変更を行っている様子

—今回はどのような経緯で今村さんへ講師のご依頼があったのでしょうか？

今村さん：私は同高校の卒業生ということでお話をいただきました。駿河生産プラットフォームでは、他校と比較し同校の卒業生が圧倒的に多く在籍しているんです。

一講演ではどのような内容を軸にお話されましたか？

今村さん：まずはミスミと駿河生産プラットフォームの概要、私が所属している組織ではどんなことを担っているのか、そして業務内容と私が思う仕事の魅力についてもお話しました。軸としては、進路設計に役立ててもらうため、自身の就職活動や入社後の研修、学生のうちに身につけておくことよと思うことなど、数年前に同じ悩みを経験した先輩として伝えられることを中心としました。特に入社後の研修については、学生が具体的に想像できるよう現場の写真をたくさん見てもらいました。

一実際に講師として高校生の前に立たれ、どのような感想をお持ちですか？

今村さん：講演を聴きながら真剣にメモを取ったりうなずいてくれたり、数年後の将来を見据えた時に自分にとって何が大切なのか、それぞれ深慮している様子がわかりました。私は高校の3年間で進路を変更しましたが、どんな進路に進むとしても、やはり大切なのは「自分は何に興味があり、何が好きで、楽しいと思えるか」だと社会人になって改めて感じます。「好き」がはっきりしていれば、進む道を決断する時にぶれない芯ができ、それが自分を支えてくれるはずです。



講演の様子

一これから社会人としての人生を迎える高校生にどんなことを期待されていますか？

今村さん：学生のうちからコミュニケーション能力を鍛えておいてほしいと思います。現場でわからないことや悩みが生じた時、一人で抱え込まずにすぐ先輩や上司に相談してほしいので、今のうちから身に付けるべき大切なスキルです。また、自ら学ぶ意欲は社会人になっても持ち続けなければなりません。少しずつでも努力を続ける習慣を断たないことは大切だと思います。

ただ、何より今はたくさん遊んで、心の英気を養ってほしいです。「勉強を頑張り、部活を頑張り、友達を大切にして、たくさんの事にチャレンジしてください！」と伝えたいです。

—最後に、ミスミグループで働く中で感じる喜びや悩みなど、日々どのようにご自身と向かい合っているかお聞かせください。

今村さん：同期入社のメンバーは、仕事の悩みを何でも打ち明けられるかけがえのない存在です。同じ経験の中でともに成長してきた仲間なので、互いに支え合い切磋琢磨し、会って話すことができるとほっとします。辛い時でも自分の心と向き合って頑張っていけるのは、同期の存在が大きいと感じています。

また、駿河生産プラットフォームでは OJT が浸透しており、現場で先輩や上司にすぐに相談できる環境がととてもありがたいです。丁寧に教育していただけることへの安心感が強く、信頼関係の中で日々自分の成長に向き合うことができます。

最後に、社内報という形でミスミグループの同僚に今回のイベントや駿河生産プラットフォームの様子を伝える機会ができ、とても嬉しく思います！



技術統括室 無人生産開発部 無人加工技術ユニットの皆さん（左から3番目が今村さん）

講演を終えて…ミスミの社会貢献活動

電気工学科の和田那佑太さん（16歳）は、「（今村さんが）入社した経緯や会社で実際にどんな働き方をするのかなどを知れて、今後の参考になった」と感想を話していました。高校生たちがそれぞれの将来を真剣に考え、悩んだり目を輝かせたりする姿は、私たちにとってとても嬉しく頼もしい存在に映ります。これから社会に旅立っていく若者たちに我々は何ができるのか、考え続けて、支え続けていければ…という気持ちになりますね。これからも、事業だけではなく、様々な方法で社会に貢献していけるミスミでありたいと改めて感じる機会となりました。

ミスミでは、「若い世代のものづくりへの関心を掻き立てる」ことを目的に、様々な社会貢献活動を通して世の中の役に立つべく考え続け、行動しています。今後の配信予定では、ミスミが行っている社会貢献活動をみなさまにご紹介したいと思います。みなさんにも、社会貢献について思いを巡らせていただくきっかけになれば、嬉しく思います。

➤ 「Future しずおか」オフィシャルサイトは[こちら](#)から